

とみけいニュース

発行 第71号

発行元
富山経済会
発行日
2023年5月17日
編集
広報委員会



2023年度の会長に就任いたしました、株式会社寺下工業の池松克政です。

羽根前会長の後を引継ぎ、これから一年間務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

最初に、前会長にはこの一年間、富山経済会創立40周年記念事業をはじめ、さまざまな行事や場面で、迅速な対応とリーダーシップにお力を発揮されたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

自身の会社についてお話しします。弊社は、解体工事・不用品回収・遺品整理・木の伐採等で関連事業としてリフォームや買取り事業もしています。会社は創業して16年目、入社してから15年、現在は外国人実習生を含め30人従業員がいます。

自分の役割は、社員の管理・営業活動・現場の安全管理等があります。今までいろいろなことがありましたが、現場作業員として入社して、営業そして管理職になり、自分の仕事に対する思いは変わってきました。最初はお金のために働いていましたが、営業についてからは従業員のために仕事を確保するプレッシャーや外部の人が会社に対してどのように思われているとか、会社・お客様・従業員・自分の事を考えています。

富山経済会に入会して、初めは自分自身への社会勉強でしたが、会社へ持ち帰れるように自己成長を会社の成長に繋がりたいです。

今回、会長になりまして、4月上旬に夜桜を見ながら散歩しているとこんな言葉を思い出しました。「飽きられる前に散る桜は賢い」(いつも同じ行動をしているといつか飽きられる)とても心が打たれました。桜だけではなく、仕事やプライベートでも同様に、私自身は積極的な性格ではありませんが、魅了されるように現状維持の考え方だけでなく、日々新しいことに挑戦していきたいです。

富山経済会においても皆さんに飽きられないよう楽しい1年にしたいと思っています。



平成7年3月に富山経済会へご入会された杉本正前県議の当会でのラストのメンバースピーチとなりました。その後吉田広報委員長と別室にてインタビューしました。当会に28年間在籍されました。(1949年1月21日生)



昭和50年26歳にて富山市議会議員に初当選(当時全国最年少市議)富山市議会議員20年、平成7年富山県議会議員に初当選7期28年、合わせて48年間議員活動をしました。富山県内でおそらく一番長く議員活動をしました。実は祖母が自分の父に議員をさせたかったが、孫の自分に期待をかけていました。後から聞いた話ですが、議員になるずっと以前から知り合いに、議員になるのでよろしく、と声かけをしていたそうです。当選したことは、皆様のお陰だと思い厚く御礼申し上げます。

☆「県議会だより」(議会質問等)



◎石川県との連携と競争について

杉本議員は新田さんが知事就任以降、石川県知事との懇談が増え、両県の連携について今後具体的にどのような取組みを進めていかれるのか、と知事に質問され、また、立山・白山・富士山の日本三霊山の存在がありますが、あまり知られていなく全国的にアピールし観光分野での連携を進めるべきと、地方創生局長に所見伺いをされました。

次に、石川県とは良きパートナーである一方良きライバルでもあります。富山県は石川県より人口が多かったにも関わらず、現在逆転されています。その増えた要因の一つとして大学が多く、若者が定着した事が考えられ、時代に合った学部の見直し、また追加により大学の魅力向上で若者の定着を図るべきだと思います。と経営管理部長にお伺いされました。



◎富山北部地区の整備について

富山県から東京オリンピック競技においてスケートボード選手が、銅メダルに輝き注目が高まって来ています。公園の魅力向上に大きく資するものと考えています。ぜひ本格的な設置に繋げて欲しいと思います。

◎子育て支援事業について

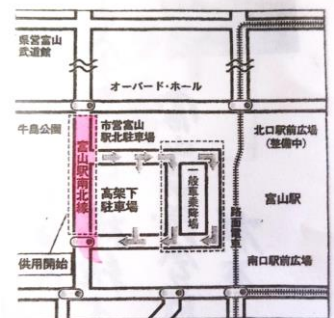
現在第4子以上の子供がいる家庭が対象になっていますが、第3子以上いる家庭にも県施設が無料になるよう要望されました。



◎富山駅南北道路について

県議になったばかりの頃の平成7年12月の特別予算委員会でJR北陸線の高架化について質問いたしました。「北陸線は人や車の流れを止める現代の万里の長城であります。北陸新幹線の工事に合わせ北陸線も高架化すべきであります」と当時の中沖知事に強く訴えたことを覚えています。

当時は、この富山駅南北線は地下方式で計画されていましたが、調査



ボーリングをしてみると、このあたりは昔の神通川の河川敷であったため大量の水が出て来て工事に支障があることが分かり、結局北陸線の高架化に決まったわけです。

この富山駅南北道路・JR 北陸線の高架化の件は議員で一番力を入れたことです。

実現に少しでも貢献ができてうれしい。政治に必要なのは言葉とアイデアとほんの少しのお金。明日をひらく若い皆さんの活躍を祈る。(本議会の引退あいさつより)



南北道路 2021年11月20日に開通

◎ 富山経済会のこと (思い出)

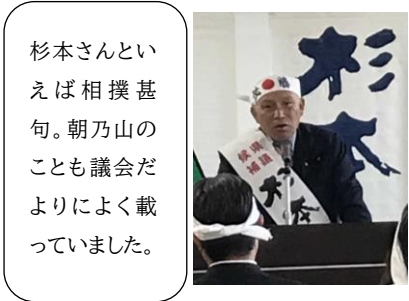
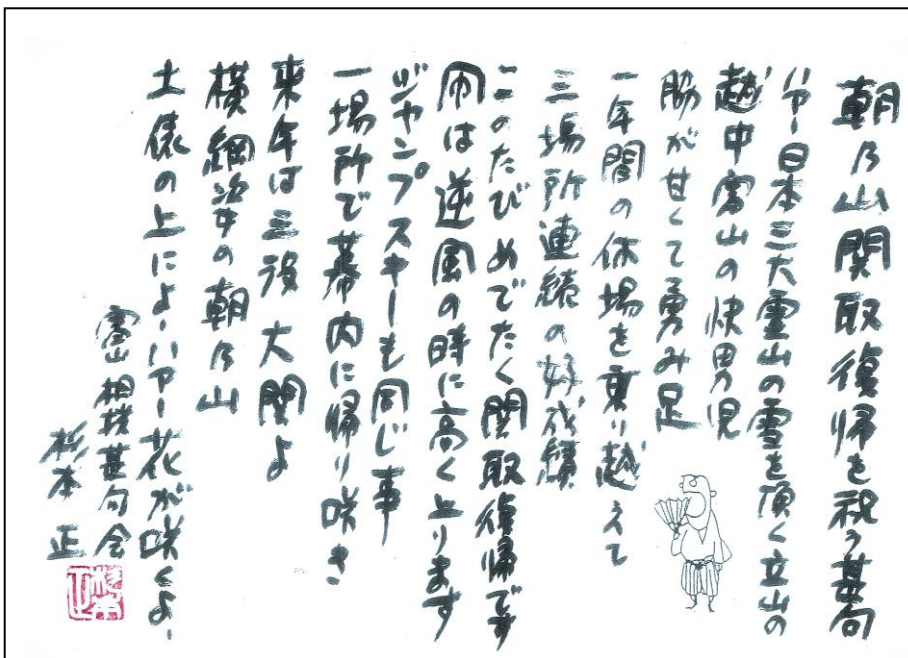
入会してとても良かったです。会社を経営されている方の話は、実際に苦労してきたことなので参考になります。会員の方は、人柄がとても気さくで溶け込めやすく、楽しく話せました。

行事の方も旅行は、最初の方はよく行きました。ゴルフも皆さん楽しくされているようで、パークゴルフも岩瀬で2回しました。お金もかからないスポーツなので初めての人も気軽にできて楽しめると思います。

僕は日頃の基本的なことが自分では気が付かず、妻には感謝していて頭が上がりません。妻は、「はぎの会」が、とても居心地がよくて喜んで出席していました。クリスマスパーティーもとても楽しかったようです。思い出として、孫が小さい頃、クリスマスパーティーに参加して風船をもらいととても喜んでいました。

自分の信条として、わかりやすい言葉で皆さんに伝える議会だよりを作っていました。1年に10万部のうち郵便で1万部、歩いて9万部を自分で配っていました。元気の秘訣は自分で歩くこと、そうしていたので選挙に対する不安はありませんでした。最後は自分一人で勝ち抜く気持ちでいました。

↓選挙期間中の演説



2023.4.9 富山県議会議員選挙において大井陽司さんが初当選されました。今後のご活躍を期待しています。
 ↓CIC 前広場での杉本正前県議と飯山市議の応援演説



〔 講演会 〕

演題 エネルギーを巡る不都合な真実
講師 三菱商事(株)北陸支店

支店長 尾城^{たかお}敬郎 氏



初めに自己紹介ですが、東京の新宿に育ち野球はヤクルトスワローズのファンでした。父の仕事でイギリスへ行き、日本の受験英語では歯が立たないと身に染みてわかり、大学は日本で進学し、そして三菱商事に就職しました。

最初にオーストラリアに行き、円高のシドニーで 1 ドル 80 円の 1990 年の初頭でした。次にイギリス、インドネシア次にアメリカのニューヨークでオバマ大統領の時代で強烈なドル高でした。そして 2019 年にカナダのバンクーバーでの仕事を終えて日本の富山へ来て、今、4 年目になります。エネルギーの仕事をしていたので北陸電力や日本海ガスと接点がありました。商社は、複数の商品を扱う総合商社と、専門の商品を取り扱うことに特化している専門商社の分類です。（ウクライナですが、輸出は小麦が多いですが、武器の部品を北朝鮮に 1 番多く輸出していて、そのミサイルが日本海へ撃ち込まれています。これはレコードで言う B 面の話です）



公共料金の電気料金が値上がりしました。燃料費調整制度があり、数か月前に海外から買ったエネルギー料金が高ければ数か月後の電力料金に反映されます。スーパーやドラッグ等の冷蔵コーナーは照明も付いていなく、コスト削減されています。なぜ、こんなに高くなったのか？それは、輸入しているエネルギー（石油や石炭）が高くなり、原子力が動いていないことがひとつの大きな理由です。（これは、目に見えている A 面）

さて、原子力は本当に必要か？日本はエネルギーが少ない国で石炭・LNG・ガス・水力・原子力を上手く分散させていくはずでしたが、CO2 削減というとても重要な問題があります。



最後に富山県にとっての最大の B 面効果は、「海の酸性化」で海は、二酸化炭素を吸収し大気中の二酸化炭素の増加ペースを抑える良い効果があります。さらに二酸化炭素は海に溶けると酸になり、この量が増し海の酸性化が進み、これは地球温暖化に伴う悪い効果です。

尾城さんは、A 面と B 面に例えて話され、目に見えるものと見えないものを判断していくことが大切だと話されました。



ゴルフ部の沖縄方面への旅行。眩しい太陽で、皆さんとてもいきいきしています。



まだまだマスクは、離せないようですが、コロナ禍前の生活にだんだんと戻ってきました。本年度は池松会長と共に元気な 1 年にしたいものです。〔事務局〕